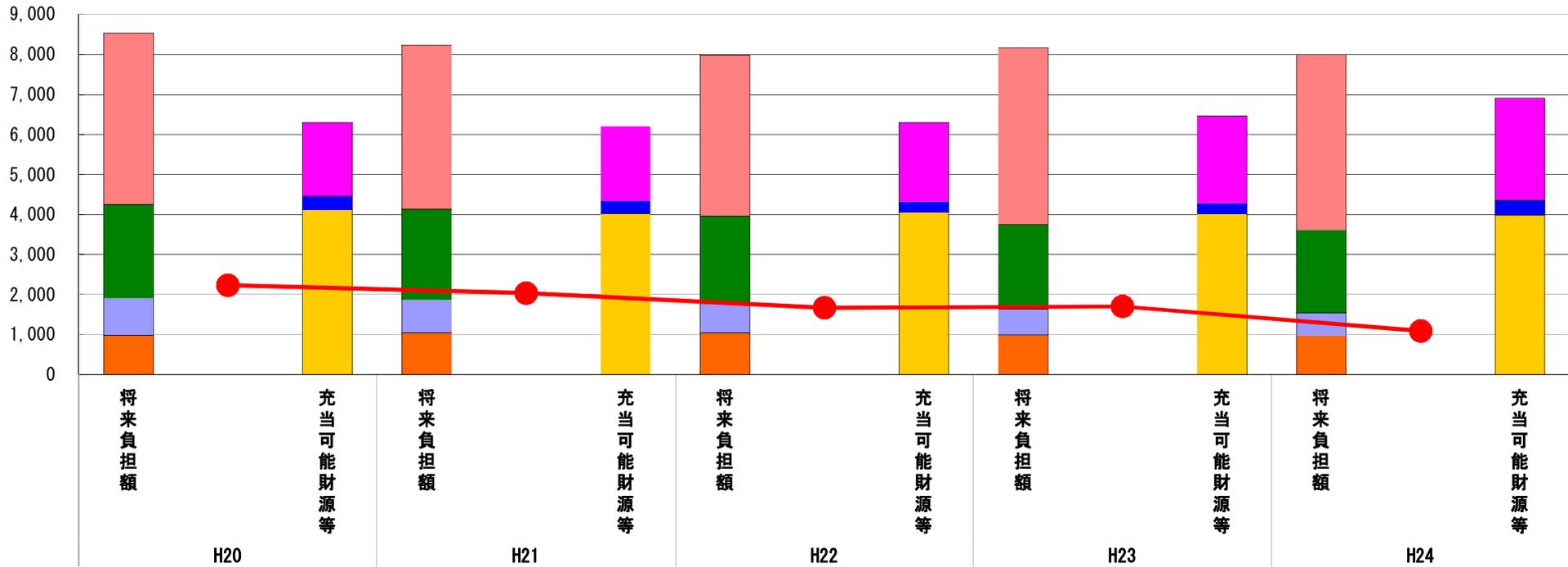


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

宮城県大郷町

(百万円)



分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		4,283	4,101	4,022	4,416	4,370
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		2,348	2,272	2,194	2,114	2,073
	組合等負担等見込額		920	819	718	643	572
	退職手当見込額		985	1,045	1,047	990	973
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,844	1,851	1,980	2,176	2,548
	充当可能特定歳入		347	321	276	277	369
	基準財政需要額算入見込額		4,112	4,027	4,052	4,007	3,984
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,234	2,037	1,671	1,703	1,088

分析欄

将来負担比率は、平成21年度と24年度との比較で40.1ポイントの大幅な減少が見られる。

この結果は、これまでの義務的経費の削減等を含む行財政改革の成果であり、公営企業債等繰入見込額や組合等負担等見込額の減少、財政調整基金や減債基金の積み立てによる充当可能基金の残高増による将来負担額の減少が主要因である。

しかしながら、一般会計における地方債の残高の減少は僅かであり、今後は公債費増に伴う比率の上昇が予想されることから、健全な財政運営に努める必要がある。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。